

## 2-4 ストリートファニチャー

### 基本テーマ

#### ●人が集い華やぐ街 橘通

ストリートファニチャーから歩道、広場、街、そして橘通へ。

#### ●花のかおりで心呼吸

花のあふれる街 花のあふれるストリートファニチャー

### 1.自然素材の活用

現代の街の風景は、建築物も歩道もまたその他の構築物も無機質物で囲われている。その街の風景の中に、宮崎の豊かな自然で育った有機質であり再生産が可能な樹木を主素材として橘通のストリートファニチャーを構成する。

かつては建物も橋も火の見やぐらまで木造であった。その前時代の人の知恵ややさしさと、現代の造形デザインや工法により橘通を木の造形物の林に変えていき、橘通が木の文化、宮崎の文化の発祥の地として、水、土、樹、花と共に、人が集い華やいだ街となる。

#### ●宮崎県に産する主な木材

樫、椎、楠、杉、松、榎、檜、樺、イスノキなど

※日南市の飢肥杉、綾町の榎、樺など

#### ●その他の自然素材

竹、石、紙、陶板、土など

### 2.地場産業の活性化

宮崎県は昔から林野産業や木材加工産業が盛んである。その人材や知識の集結と、公共や民間の研究機関や教育機関の参加により、地場産業の活性化を図る。

### 3.システム化

橘通の900mにわたる、それぞれの個店の特色のあるファサードの前の歩道と、それぞれテーマ別の広場に、立体格子によりシステム化されたストリートファニチャーで橘通の街の流れと統一感を演出する。

### 4.花との調和

ストリートファニチャーの中と回りに、樹木と花をあふれさせ、ストリートファニチャーの自然の肌の色と、樹木の緑や花の原色の色との調和により、橘通が華やかで落ち着きのある街になる。

●樹木と花の、生育に考慮したプランターなどを、ストリートファニチャーに組み込む。

### 5.市民参加

ストリートファニチャーの制作にあたって、市民公募やイベントを開催し、市民のアイデアや発想を取り入れた共同制作を行い、子供への教育効果と共に、橘通は市民に親しまれ、ふれあいの大きな街になっていく。

●市民との共同制作による花の彫刻や絵を、テーブルやベンチに施す。

●ピラー（配電盤）に、子供によるサインやラクガキコーナーをつくる。



システム家具の原寸模型による街路でのチェック風景

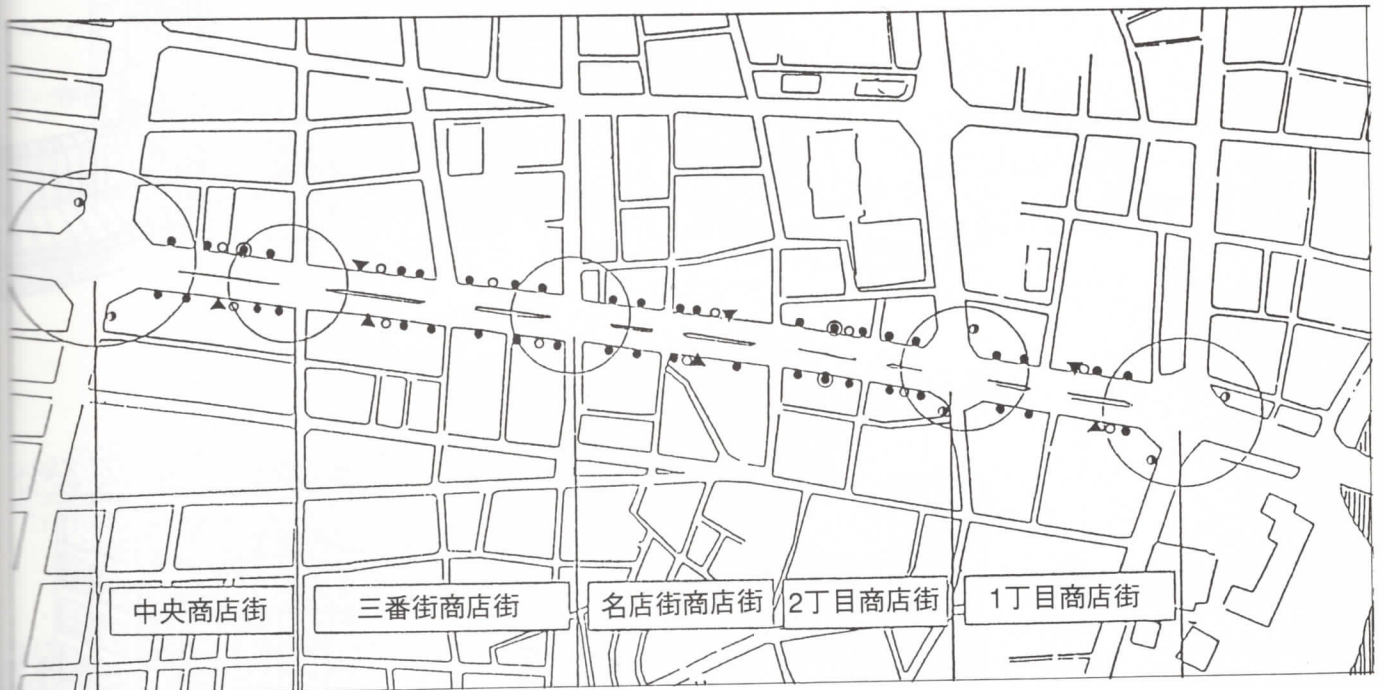
## 6.配置計画

商店街の待合、情報収集の場として橋通全体の中心的存在になる各広場と、商店街の中心的存在になるバス

停を核として、その間の歩道に休憩の場としてベンチを配して、橋通の基本配置計画とする。



### ●全体配置図



▲バスストップ (7ヶ所)

◎街路ベンチA (3ヶ所)

待合、情報収集、休憩、  
(ゲート、サイン、ベンチ、  
プランター、時刻板、時計)

●街路ベンチB (40ヶ所)

休憩、散歩

○広場電話ボックス (6ヶ所)  
(車椅子でも入れる)

○街路電話柱 (12ヶ所)

☆広場テーブル、ベンチ

待合、休憩、散歩、イベント  
(花、葉っぱのテーブル、ベンチ)